

本PDFは見本です
出願時には募集要項冊子をお取り寄せください

令和3年度 専攻科

学生募集要項 入学案内

区分	出願期間	検査日	合格発表
推薦選抜	令和2年5月11日(月) ～5月13日(水)	5月20日(水)	5月29日(金)
学力選抜	令和2年6月3日(水) ～6月5日(金)	6月20日(土)	6月26日(金)
社会人特別選抜	令和2年10月21日(水) ～10月23日(金)	11月7日(土)	11月13日(金)



独立行政法人国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Oyama College

323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771
電 話 0285-20-2142 (学生課教務係)
F A X 0285-20-2882 (学生課)
E-Mail kyoumu@oyama-ct.ac.jp
U R L <https://www.oyama-ct.ac.jp>

目 次

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	1
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	2
修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	2
I 入学者選抜の基本方針	3
II 募集定員	3
III 選抜方法	3
IV 選抜日程	3
V 選抜場所	3
VI 学校長推薦による選抜	4
VII 学力検査による選抜	7
VIII 社会人特別選抜	11
IX その他	
1 受検又は修学において特別な配慮が必要な入学志願者の事前連絡	14
2 出願上の注意事項	14
3 出願書類に関する個人情報の取り扱い	14
4 受検に際してのお願い	14
5 入学手続	15
6 その他	15

出願書類

入学願書

調査書

卒業研究要旨

入学検定料「振込受付証明書」貼付票・写真票・受検票（裏面：受検心得）

推薦書

承諾書

振込受付証明書・振込金受取書・振込依頼書

入学検定料の納入方法について

専攻科入学案内	1
別表（カリキュラム）	4
技術者教育プログラムについて	6

令和3年度

小山工業高等専門学校専攻科学生募集要項

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本校専攻科（複合工学専攻）では、

教育方針“技術者である前に人間であれ”を堅持し、地域社会や産業界とともに、21世紀の国際社会で活躍貢献できる個性と人間性豊かで実践的能力を備えた高度な技術者を育成することを目指します。

この目標を達成するために、次の学力を有し、人間性豊かな人の入学を望みます。

- (1) 工学に対する関心が高く、工学についての基礎学力と自然科学についての学力を有し、自ら学ぶ意欲がある人
- (2) モノづくりに対する関心が高く、体験してきた人
- (3) 学んだことを自らのことばで伝えることのできる日本語の能力及び英語の基礎学力を有している人

各コースの受入れ方針

○機械工学コース

機械工学に関連する分野の基礎学力をもち、基礎を応用して、より高度な技術を自ら身に付けようとする意欲のある人、専門分野の知識や得られた成果を簡潔に説明・発表できる人

○電気電子創造工学コース

数学・英語の基礎学力と電気電子の専門基礎学力を有し、電気・電子・情報について自ら学び、その分野を積極的に研究できる人

○物質工学コース

材料工学や生物工学等の諸分野に関する化学の基礎学力を持ち、より高度な専門知識と問題解決能力の修得と自学自習の意欲があり、協調性を持ってチャレンジできる人

○建築学コース

建築学における、生活に密接に関わる安全・快適な建築物及び居住環境や都市空間について関心があり、これらの分野の基礎的な学力を有し、自ら学ぶ意欲のある人

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

本校専攻科（複合工学専攻）では、

本準学士課程にて修得した学科の専門性をより高度化したうえで、さらに共通として修得すべき複合教育を実施する教育課程を編成しています。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。

1. 高専の準学士課程教育で修得した学力を基礎とし、さらに高度化・複合化した教育を行うために、コースごとの専門性をより高度化させた科目とともに、英語関連科目、経営工学、技術者倫理、環境技術、産業財産権などの共通科目を編成し、複眼的な配慮ができる技術者としての基礎を形成します。
2. デザイン教育科目としてプロジェクトデザインやシステムデザインを配置し、さらに実務研修（インターンシップ）を実施することで、広い視野とコミュニケーション能力を醸成します。
3. コースごとに専門科目を編成し、高度な技術に関する理解を深めます。
4. 実験・実習と特別研究を系統的に編成し、開発能力に富む創造的技術者を育成します。

修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

本校専攻科（複合工学専攻）では、

機械系、電気・電子・情報系、化学を基礎とした分野及び建築学の諸分野の基礎学力の養成と各専門性を深めつつ、技術の複合化・高度化の進む産業社会に柔軟に対応できる人材の養成を目指しています。

具体的には、

- 1) 工学理論のみでなく、実験・実習、実学に裏付けされた技術者の育成。
- 2) 専門分野を持ちながらも他分野も見渡せる複眼的なものの見方や考え方ができるフレキシビリティのある技術者の育成です。

このような人材育成目標に到達するために、以下のような能力を身につけた学生に修了を認定します。

1. 一般科目

言語や倫理観の育成に関する科目について一般科目から6単位を修得すること。

2. 専門科目

- 2.1 数学・物理系の知識を育成するために、専門基礎科目から4単位以上を修得すること。
- 2.2 複眼的な素養の育成をするために、コース共通科目から26単位以上を修得すること。
- 2.3 専門分野の知識・能力の育成として、各コース科目から17単位以上を修得すること。

総合的に、専攻科に2年以上在学し、所定の授業科目のうち62単位以上を修得した学生に修了を認定します。

I 入学者選抜の基本方針

教育目標を達成できる基礎学力とものづくり志向を有する受検者の上位から定員までを選抜する。

II 募集定員

専攻名	コース名	人数
複合工学専攻	機械工学コース	20名
	電気電子創造工学コース	
	物質工学コース	
	建築学コース	

III 選抜方法

区分	人数
学校長推薦による選抜	特に定めない
学力検査による選抜	特に定めない
社会人特別選抜	若干名

IV 選抜日程

区分	出願期間	検査日	合格発表
推薦選抜	令和2年 5月11日(月) ～ 5月13日(水)	5月20日(水)	5月29日(金)
学力選抜	令和2年 6月3日(水) ～ 6月5日(金)	6月20日(土)	6月26日(金)
社会人特別選抜	令和2年10月21日(水) ～ 10月23日(金)	11月7日(土)	11月13日(金)

V 選抜場所

小山工業高等専門学校

栃木県小山市大字中久喜 771

VI 学校長推薦による選抜

出願の前に、学位授与申請及び本校の技術者教育プログラム（募集要項中「専攻科入学案内」6ページ「技術者教育プログラムについて」を参照。）に対する学習の適否を判断する必要があります。出願前に予め成績証明書（科目ごとの成績及び修得単位数が証明される書類）、シラバス又は履修内容を証明したものの提出が必要です。（本校卒業見込者は、シラバス又は履修内容を証明したものの提出は、不要です。）各自、適否を確認してください。

1 出願資格

令和3年3月高等専門学校を卒業見込みの者で、学校長が成績及び人物ともに優れていると認めて推薦する者。

2 出願手続

- (1) 本校以外の教育機関の出身者は、事前に下記の書類を提出してください。

単位取得証明書及び成績証明書（点数評価書）

シラバス又は履修内容を証明したもの

提出期限 令和2年 4月20日（月）

- (2) 願書受付

期 間 令和2年 5月11日（月）から5月13日（水）

（郵送の場合は、5月13日（水）必着とします。）

時 間 9：00から17：00まで

場 所 小山工業高等専門学校 学生課教務係
〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771

（注） 郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

- (3) 出願に必要な書類

出願書類等	摘 要
1 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2 受 検 票 写 真 票	写真は、正面脱帽上半身・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願以前3か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3 調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
4 卒業研究要旨	本校所定の用紙により、出願者が作成したもの。
5 推 薦 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成したもの。
6 TOEICスコア	TOEIC（IPを含む）のスコア証明書の原本及び写しを提出してください。 ただし、推薦選抜検査日から2年以内に取得したスコアを有効とします。 なお、原本がないものは認めません。原本は、確認後返却します。

7 入学検定料 (貼付票)	16,500円 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM(現金自動預払機)は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
8 受検票 送付用封筒	封筒(角2形:240×332mm)の表に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、切手730円(速達、簡易書留郵便料を含む。)分を貼付してください。 (出願書類を直接持参する場合は、不要です。)
9 その他	現在、日本国内に在住する外国人は、次の書類を提出してください。 ① 市区町村長の発行する「住民票」 ② 「在留カード」両面の写し ③ 「国民健康保険証」等の写し

3 選抜方法

入学者の選抜は、面接(専門分野の口頭試問を含む。)、出身学校長から提出された調査書、推薦書及びTOEIC(IPを含む。)スコアの結果を総合して行います。

4 選抜検査の日時及び場所

令和2年 5月20日(水)

	時 間	場 所
面 接	13:30～	小山工業高等専門学校

開始20分前までに本校専攻科棟1階多目的ホールに集合してください。

5 合格発表

令和2年 5月29日(金) 10:00

本校に掲示するとともに、その可否を出身学校長及び本人に文書で通知します。

(電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。)

※ 10時以降にホームページによる合格者速報を行います。なお、このサービスについては、万全を期しておりますが、「合格通知書」等により再度、確認願います。

URL <https://www.oyama-ct.ac.jp>

6 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和2年6月3日(水)(必着)までに、「入学確約書」を提出してください。期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

7 「推薦選抜」に合格しなかった場合の手続き

「推薦選抜」の結果、合格しなかった者で「学力選抜」を希望する場合は、再度、検定料を納入のうえ下記の書類を整え、令和2年6月2日(火)までに手続きを完了してください。

なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

出願書類等	摘 要
1 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2 受 検 票 写 真 票	写真は、正面脱帽上半身・無背景(縦4cm×横3cm)で、出願以前3か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3 入 学 検 定 料 (貼 付 票)	16,500円 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM(現金自動預払機)は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
4 受 検 票 送 付 用 封 筒	封筒(角2形:240×332mm)の表に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、切手730円(速達、簡易書留郵便料を含む。)分を貼付してください。 (出願書類を直接持参する場合は、不要です。)

Ⅶ 学力検査による選抜

出願の前に、学位授与申請及び本校の技術者教育プログラム（募集要項中「専攻科入学案内」6ページ「技術者教育プログラムについて」を参照）に対する学習の適否を判断する必要があります。出願前に予め成績証明書（科目ごとの成績及び修得単位数が証明される書類）、シラバス又は履修内容を証明したものの提出が必要です。（本校卒業見込者は、シラバス又は履修内容を証明したものの提出は、不要です。）各自、適否を確認してください。

1 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）
- (3) 短期大学を卒業した者（令和3年3月卒業見込みの者を含む。）
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者（令和3年3月修了見込みの者を含む。）
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) その他本校専攻科が、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 出願手続

- (1) 本校以外の教育機関の出身者は、事前に下記の書類を提出してください。

単位取得証明書及び成績証明書（点数評価書）

シラバス又は履修内容を証明したもの

提出期限 令和2年 5月22日（金）

- (2) 願書受付

期 間 令和2年 6月3日（水）から 6月5日（金）

（郵送の場合は、6月5日（金）必着とします。）

時 間 9：00から17：00まで

場 所 小山工業高等専門学校 学生課教務係

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771

（注）郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

(3) 出願に必要な書類

出願書類等	摘 要
1 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2 受 検 票 写 真 票	写真は、正面脱帽上半身・無背景(縦4cm×横3cm)で、出願以前3か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3 卒業証明書等	出身学校長又は学長が作成し、厳封したもの。(本校卒業者、卒業見込み者は不要)
4 調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長又は学長が作成し、厳封したもの。ただし、出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も添付してください。出願資格(4)により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 ① 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書。 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類。 出願資格(5)から(8)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代えます。
5 卒業研究要旨	本校所定の用紙により、出願者が作成したもの。
6 TOEICスコア	TOEIC(IPを含む。)スコアの証明書の原本及び写しを提出してください。ただし、学力選抜検査日から2年以内に取得したスコアを有効とします。なお、原本がないものは認めません。原本は、確認後返却します。
7 承 諾 書	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。(選抜検査に合格し、企業に在職のまま入学を希望する者のみ。)
8 入学検定料 (貼付票)	16,500円 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM(現金自動預払機)は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
9 受 検 票 送 付 用 封 筒	封筒(角2形:240×332mm)の表に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し切手730円(速達、簡易書留郵便料を含む。)分を貼付してください。 (出願書類を直接持参する場合は、不要です。)
10 そ の 他	・現在、日本国内に在住する外国人は、次の書類を提出してください。 ① 市区町村長の発行する「住民票」 ② 「在留カード」両面の写し ③ 「国民健康保険証」等の写し ・既卒者は、履歴書(写真の貼付は不要)を提出してください。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、TOEIC（IPを含む）、面接及び出身学校長又は学長から提出された調査書の結果を総合して行います。

4 選 抜 検 査 科 目、日 時 及 び 場 所

(1) 学 力 検 査 科 目

科 目		出 題 分 野
各コース共通 (一般科目)	数 学	高専数学全般(主に微分積分学、線形代数学、微分方程式)
専 門 科 目	機 械 工 学 コ ー ス	工業力学（機械力学を含む。）、熱力学、水力学、材料力学、 機械工作法（材料学を含む。）
	電 気 電 子 創 造 工 学 コ ー ス	電気磁気学、電気回路、情報工学
	物 質 工 学 コ ー ス	有機化学（有機化合物の性質、求電子付加・置換反応、 求核置換反応） 無機化学（物質の構成・結合・状態、化学反応、 典型元素・非金属元素・遷移元素と化合物） 物理化学（熱力学、量子化学、反応速度） 生物化学（生体物質、代謝と生合成、遺伝子） 化学工学（単位換算、物質収支、流動、伝熱、蒸留）
	建 築 学 コ ー ス	建築計画、建築構造

英語については筆記試験を行わず、出願時に提出された TOEIC（IP を含む。）スコアを以下の方法で換算して英語の得点とします。

TOEIC スコアが 300 点未満の場合：

$$\text{英語の得点} = 0 \text{ 点}$$

TOEIC スコアが 300 点以上～600 点未満の場合：

$$\text{英語の得点} = \text{英語配点の} \{ (40/300) \times (\text{TOEIC スコア}) + 10 \} \%$$

TOEIC スコアが 600 点以上～900 点未満の場合：

$$\text{英語の得点} = \text{英語配点の} \{ (10/300) \times (\text{TOEIC スコア}) + 70 \} \%$$

TOEIC スコアが 900 点以上の場合：

$$\text{英語の得点} = \text{英語配点の} 100\%$$

(2) 学力検査等の日時及び場所

令和2年 6月20日(土)

科目等	時間	場所
専門科目	9:30～11:00	小山工業高等専門学校
数学	11:20～12:20	
面接	13:30～	

開始20分前までに本校専攻科棟4階多目的メディアホールに集合してください。

5 合格発表

令和2年6月26日(金) 10:00

本校に掲示するとともに、合格者本人に文書で通知します。

(電話等による合否の問合せには、一切応じません。)

※ 10時以降にホームページによる合格者速報を行います。なお、このサービスについては、万全を期しておりますが、「合格通知書」等により再度、確認願います。

URL <https://www.oyama-ct.ac.jp>

6 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和2年 9月18日(金) (必着)までに、「入学確約書」を提出してください。期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

7 その他の注意事項

出題の内容に応じ、関数電卓を貸与します。

Ⅷ 社会人特別選抜

出願の前に、学位授与申請及び本校の技術者教育プログラム（募集要項中「専攻科入学案内」6ページ「技術者教育プログラムについて」を参照）に対する学習の適否を判断する必要があります。出願前に予め成績証明書（科目ごとの成績及び修得単位数が証明される書類）、シラバス又は履修内容を証明したものの提出が必要です。（本校卒業見込者は、シラバス又は履修内容を証明したものの提出は、不要です。）各自、適否を確認してください。

1 出願資格

出願時において企業等の在職期間が1年以上ある者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者
- (3) 短期大学を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) その他本校専攻科が、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 出願手続

- (1) 本校以外の教育機関の出身者は、事前に下記の書類を提出してください。

単位取得証明書及び成績証明書（点数評価書）

シラバス又は履修内容を証明したもの

提出期限 令和2年10月9日（金）

- (2) 願書受付

期 間 令和2年10月21日（水）から10月23日（金）

（郵送の場合は、10月23日（金）必着とします。）

時 間 9：00から17：00まで

場 所 小山工業高等専門学校 学生課教務係

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771

（注）郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

(3) 出願に必要な書類

出願書類等	摘 要
1 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2 受 検 票 写 真 票	写真は、正面脱帽上半身・無背景(縦4cm×横3cm)で、出願以前3か月以内に撮影したものを、所定の位置に貼付してください。
3 卒業証明書等	出身学校長又は学長が作成し、厳封したもの。(本校卒業者は不要)
4 単 位 取 得 証 明 書	出身学校又は短期大学等の所定の用紙により学校長又は学長が作成し、厳封したもの。ただし、出願資格(1)により出願する者で高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の単位取得証明書を添付してください。出願資格(4)により出願する者は、次の証明書等も併せて提出してください。 ①専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類出願資格(5)から(8)により出願する者は、出願資格にかかる最終学校の成績証明書をもって代えます。
5 卒業研究要旨	本校所定の用紙により、出願者が作成したもの。
6 TOEICスコア	TOEIC(IPを含む。)スコアの証明書の原本及び写しを提出してください。ただし、社会人特別選抜検査日から2年以内に取得したスコアを有効とします。なお、原本がないものは認めません。原本は、確認後、返却します。
7 承 諾 書	本校所定の用紙により、所属長が作成したもの。(選抜検査に合格し、企業に在職のまま入学を希望する者のみ。)
8 業 績 調 書	① 社会人としての勤務業績等を600字以内にまとめたもの。 ② 在籍期間を証明するもの。
9 入 学 検 定 料 (貼 付 票)	16,500円 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの金融機関の受付窓口にて振り込みください。ATM(現金自動預払機)は、使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際は、金融機関の押印を確認し、入学検定料振込受付証明書貼付票に貼付してください。 金融機関の押印のないものや貼付票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
10 受 検 票 送 付 用 封 筒	封筒(角2形:240×332mm)の表に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、切手730円(速達、簡易書留郵便料を含む。)分を貼付してください。 (出願書類を直接持参する場合は、不要です。)
11 そ の 他	・現在、日本国内に在住する外国人は、次の書類を提出してください。 ① 市区町村長の発行する「住民票」 ② 「在留カード」両面の写し ③ 「国民健康保険証」等の写し ・既卒者は、履歴書(写真の貼付は不要)を提出してください。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、小論文、面接（専門分野の口頭試問を含む。）及びTOEIC(IPを含む。）スコアの結果を総合して行います。

4 選 抜 検 査 の 日 時 及 び 場 所

令和2年11月 7日（土）

科 目 等	時 間	場 所
小 論 文	13:30～14:30	小山工業高等専門学校
面 接 (専門分野の口頭試問を含む)	15:00～	

開始20分前までに本校の指定する場所に集合してください。

5 合 格 発 表

令和2年11月13日（金）10:00

本校に掲示するとともに、合格者本人に文書で通知します。

（電話等による合否の問い合わせには一切応じません。）

※ 10時以降にホームページによる合格者速報を行います。なお、このサービスについては、万全を期しておりますが、「合格通知書」等により再度、確認願います。

URL <https://www.oyama-ct.ac.jp>

6 入 学 確 約 書 の 提 出

合格通知を受けた者は、令和2年11月27日（金）（必着）までに、「入学確約書」を提出してください。期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

Ⅸ その他

1 受検又は修学において特別な配慮が必要な入学志願者の事前連絡

本校に入学を志願する者で、受検又は修学において特別な配慮が必要とする者は、次のとおり事前に連絡してください。なお、必要な場合は、志願者又は出身学校関係者等に照会することがあります。

(1) 提出書類

ア 身体等の状況の記録（下記の学生課教務係に本校所定様式を請求してください。）

イ 障がいの程度等を記載した医師の診断書（補助具を必要とするなどの所見を含む。）

(2) 提出期限

各選抜検査願書受付開始日から遡った1ヶ月前（土日の場合は、前日の金曜日とします。）

(3) 提出先

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771

小山市工業高等専門学校 学生課教務係

電話0285-20-2142

2 出願上の注意事項

(1) 出願書類等の不備なものは受理しません。

(2) 出願書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。

(3) 受理した出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

(4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。

(5) 出願者は、出願時にあらかじめ履修を希望するコース名を入学願書の所定の欄に記入してください。その場合履修を希望するコース名は、原則として出身高等専門学校の学科名、カリキュラム分野名と同等もしくは関連のあるコース名を希望することができます。履修を希望するコース名が出身校の学科名、カリキュラム分野名等から判断ができない場合は、本校に問い合わせてください。

3 出願書類に関する個人情報の取り扱い

入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜検査結果等の個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録

(3) 入学料、授業料の免除申請の審査

(4) 奨学金申請の審査

(5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

4 受検に際してのお願い

(1) 受検票は、入学願書を受理後、本人に交付又は郵送します。検査当日は、受検票を必ず持参してください。

- (2) 出願書類提出後、住所又は合格通知書等の受け取り先を変更したときは、直ちに、本校学生課教務係に受検番号及び氏名を記入のうえ届け出てください。

5 入学手続

- (1) 入学手続は、令和3年2月に行い、合格者には、1月中に、別途、通知します。
(2) 本校以外からの合格者は、卒業証明書等を令和3年3月31日(水)までに学生課教務係に提出(郵送可)してください。

6 その他

募集要項等に関しご不明な点は、次の問い合わせ先にお尋ねください。

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771

小山市工業高等専門学校 学生課教務係

電話 0285-20-2142 (学生課教務係)

0285-20-2141 (学生課専門職員)

FAX 0285-20-2882 (学生課)

E-Mail kyoumu@oyama-ct.ac.jp

令和3年度小山工業高等専門学校専攻科

入学願書

志望コース	コース		受験番号	※
ふりがな		男	生年月日	平成 年 月 日生
氏名		・ 女	入学した場合の 入寮希望の有無	有 ・ 無
ふりがな				
住所				
郵便番号	〒 -	電話番号	- () -	
在籍又は 出身学校	高等専門学校 短期大学 専門学校 (平成・令和 年 月 日 卒業・卒業見込・終了・修了見込)			
学歴及び	平成・令和 年 月	中学校卒業		
	自平成・令和 年 月			
	至平成・令和 年 月			
	自平成・令和 年 月			
職歴	自平成・令和 年 月			
	至平成・令和 年 月			
	自平成・令和 年 月			
	至平成・令和 年 月			
勤務先 勤務先所在地	〒 - 電話 - () -			
合格通知書等 を受け取る住所	〒 - 電話 - () -			

1. ※印欄は記入しないこと。その他の欄は楷書で記入してください。
2. 学歴及び職歴欄は、中学校卒業から記入してください。
3. 勤務先は、企業等に在職のまま入学を志望する者のみ記入してください。

令和3年度小山工業高等専門学校専攻科

調 査 書

志望コース	コース			受検番号※	
ふりがな		男	学 校 ・ 学 科 名	高等専門学校 短期大学 専門学校	
氏 名		女		学 科	
生年月日	平成 年 月 日	入学 編入学 転入学	平成 年 月 日	卒業・卒業見込 修了・修了見込	
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長（学長）が作成、厳封したものを添付。修得単位数が明記されているもの。 （成績の評定基準を右表に明示すること。）		評定基準	評定の区分	点数の範囲
					点～ 点
					点～ 点
					点～ 点
					点以下
学科内席次	1年	人中 位	4年	人中 位	
	2年	人中 位	5年	人中 位	
	3年	人中 位			
在学中の状況					
上記の通り相違ないことを証明する。					
令和 年 月 日					
学 校 名					
校長・学長氏名					
職印					

記入上の注意

- ※印欄は記入しないでください。
- 在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。

令和3年度小山工業高等専門学校専攻科

卒業研究要旨

志望コース	コース		受検番号※	
ふりがな		男	学 校	高等専門学校 短期大学 専門学校 学 科
氏 名		・	・	
生年月日	平成 年 月 日生	女	学 科 名	
卒業研究題目				
卒業研究要旨				
指導教員 学科・氏名	学科		氏名	

記入上の注意

- ※印欄は記入しないでください。
- 要旨は、400字程度にまとめてください。

令和3年度
小山工業高等専門学校専攻科
入学検定料「振込受付証明書」貼付票

志望コース	受 検 番 号
コース※	
(ふりがな)氏 名	
生年月日	平成 年 月 日 生

入学検定料

『振込受付証明書』

貼付欄

入学検定料は、金融機関の窓口で振込をしてください。
なお、A.T.M (現金自動預払機) は使用しないでください。
また、金融機関の押印がない場合は、受理できません。

きりはなさないこと

令和3年度
小山工業高等専門学校専攻科

写 真 票

志望コース	受 検 番 号
コース※	
(ふりがな)氏 名	
生年月日	平成 年 月 日 生

○写真 (4cm×3cm) を貼付してください。
○写真は、正面脱帽上半身で3か月以内撮影したもの。
○写真の裏面に氏名、志望コースを記入してください。

※印の欄は記入しないこと。

きりはなさないこと

令和3年度
小山工業高等専門学校専攻科

受 検 票

志望コース	受 検 番 号
コース※	
(ふりがな)氏 名	
生年月日	平成 年 月 日 生

(写真を貼る欄)

○ 写真は写真票と同一のものを貼付してください。

※印の欄は記入しないこと。

受 検 心 得

選抜日時

推薦選抜

令和2年5月20日(水)
面接 13:30～

学力選抜

令和2年6月20日(土)

専門科目	9:30～11:00
数 学	11:20～12:20
面 接	13:30～

社会人特別選抜

令和2年11月 7日(土)

小 論	文 13:30～14:30
面 接	15:00～

選抜場所

小山工業高等専門学校

- ・ 受検者は、開始20分前までに集合してください。指定の時間に遅れた者は受検を認めないことがあります。
- ・ 本票を必ず携帯してください。本票を携帯しない者は受検できません。
- ・ 本票を忘れたとき又は紛失したときは直ちに検査本部に届け出て、指示を受けてください。

受検番号	※
------	---

令和 年 月 日

推 薦 書

小山工業高等専門学校長 殿

学校名

校長名

印

下記の者は、次の理由により貴校の専攻科複合工学専攻
コース
への推薦入学にふさわしい者として認め、推薦いたします。

記

氏 名

生年月日 平成 年 月 日生

推薦理由

受検番号	※
------	---

令和 年 月 日

承 諾 書

小山工業高等専門学校長 殿

企業等名

所属長名

印

下記の者が貴校の専攻科入学者選抜検査に出願し、合格した場合には在職のまま入学することを承諾いたします。

記

出願者氏名

生 年 月 日 平成 年 月 日生

所属部・課・係

- ※ 各票の太線の中をご記入ください。
ご依頼人欄の氏名、住所、電話は、志願者本人の名前（フリガナ）、住所、電話番号を記入してください。
振込受付証明書、振込金受取書に金融機関の受領印があることを必ず確認してください。
- ※ この振込依頼書で銀行、信用金庫、農協などの金融機関窓口で納付できます。
（ATM機は使用しないでください。振込受付証明書の受領印確認が出来ない恐れがあります。）
ただし、ゆうちょ銀行から納付する場合は、口座保有者のみ可能です。
利用の際は、「通帳と届け印」または「キャッシュカード」、及び、この振込依頼書をゆうちょ銀行へ持参のうえ、窓口でご相談ください。

切取り取付

振込受付証明書

科目		検定料	
令和	年	月	日
金額	百万	千	円
	¥	16500	0
取引銀行	科目	口座番号	
栃木銀行小山支店	普通	6916022	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人	氏名		
	住所		

上記のとおり振込金として受付けました。

(取扱店) _____ 銀行 _____ 店

受領印

(高専提出用)

(取扱店→依頼人)

振込金受取書

科目		検定料	
令和	年	月	日
金額	百万	千	円
	¥	16500	0
取引銀行	科目	口座番号	
栃木銀行小山支店	普通	6916022	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人	様		

上記のとおり振込金として受取りました。

(取扱店) _____ 銀行 _____ 店

受領印

(本人保管)

(取扱店→依頼人)

振込依頼書

科目		検定料	
令和	年	月	日
電信扱	手数料		
金額	百万	千	円
	¥	16500	0
取引銀行	科目	口座番号	
栃木銀行小山支店	普通	6916022	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人	(フリガナ) _____		
	(おなまえ) _____		
	(おところ) 〒193-0834 _____		
	東京都八王子市東浅川町701-2 (電話) 042-662-3166		
	(フリガナ) _____ (収納済印又は振替印)		
	(氏名) _____		
	(住所) 〒 _____		
	(電話) _____		

各票の太線の中をご記入ください。

ご依頼人は切り取らないで下さい。

切取り取付

(取扱店保管)

入学検定料の納入方法について

志願者 各位

小山工業高等専門学校

別紙の振込用紙により、次の要領で納入してください。

【1】納入方法

- ア 別紙の振込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。
銀行、信用金庫、農協、ゆうちょ銀行など全国の金融機関窓口で納入できます。
- イ 振込受付証明書と振込金受取書は、金融機関の受領印があることを確認のうえ受け取ってください。
- ウ 入学検定料「振込受付証明書」貼付票に振込受付証明書を貼付して出願してください。
- エ 振込金受取書は、本人の控えとして、受検票が手元に届くまで大切に保管してください。

- ※ 振込時の振込手数料は、振込人負担となります。
- ※ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還できません。
- ※ 納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合上記の場合は、総務課財務係までご連絡ください。

【2】納入期間

推薦選抜	令和2年 5月 4日（月）から 5月13日（水）まで
学力選抜	令和2年 5月27日（水）から 6月 5日（金）まで
社会人特別選抜	令和2年10月14日（水）から10月23日（金）まで

【3】注意事項

金融機関の窓口にて納入してください。（ATMは使用しないでください。）

- ※ 不明な点等については、次の問い合わせ先にお尋ねください。

問い合わせ先

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771

小山工業高等専門学校 総務課財務係

Tel.0285-20-2131

専攻科入学案内

1 専攻科の設置

平成11年 4月 1日（設置）
平成22年 4月 1日（改組）
平成30年 4月 1日（コース変更）

2 専攻科の目的

本校専攻科は、5年間の高等専門学校における教育の基盤の上に立ち、より深く高度な専門知識及び技術を教授し、もって広く地域社会並びに産業界で活躍できる実践的かつ創造的な技術者の育成を目的とします。

3 専攻及び入学定員

複合工学専攻 20名
①機械工学コース
②電気電子創造工学コース
③物質工学コース
④建築学コース

4 修業年限及び修了要件

(1) 修業年限 2か年
(2) 修了要件 62単位以上修得

5 専攻科の教育方針及び教育目標

機械系、電気・電子・情報系、化学を基礎とした材料工学・生物工学・化学工学等の分野、及び建築学の諸分野の基礎学力の養成と各専門性を深めつつ、技術の複合化・高度化の進む産業社会に柔軟に対応できる人材の養成を目指します。

具体的には1) 工学理論のみでなく、実験・実習、実学に裏付けされた技術者の育成。2) 専門分野を持ちながらも他分野も見通せる複眼的なものの見方や考え方ができるフレキシビリティのある技術者の育成である。そのため、専門分野の習熟と共に、共通科目を設け、複眼的で柔軟なものの見方の修得を目指します。

(1) 機械工学コース

機械工学コースは、主として機械工学科を卒業した学生に対して、準学士課程で修得した専門性を活かし、技術の細分化、複合化に柔軟に対応できる知識を持ち、かつ環境にも配慮できる基礎と応用力の修得を目指します。

(2) 電気電子創造工学コース

電気電子情報系学科を卒業した学生に対して、現代社会を支えるエネルギー・制御・情報に関する高度な知識・技術を広く教授する。技術の複合化が進む社会に専門性を活かして柔軟に対応できる高度技術の基礎・応用力と研究能力の修得を目指します。

(3) 物質工学コース

主として化学や生物に関する物質工学系の学科を卒業した学生に対し、高専で修得した専門性を活かし、技術の複合化、ハイテク化の進む産業社会の構造に適応した知識・技術を広く教授する。材料工学、生物工学、化学工学に関する高度技術の基礎及び応用力の修得を目指します。また、情報等の幅広い知識も得られるよう配慮しています。

(4) 建築学コース

主として建築学科を卒業した学生に対して、高専で修得した専門性を活かした応用力の育成を主眼とし、専門科目、特別研究等を通して高度で科学的な学習はもとより、地域に密着した堅実で現実的な技術及び知識の修得を目指します、また、情報などの幅広い知識も得られるよう配慮しています。

6 専攻科の教育課程及び修了に必要な単位

教育課程は、一般科目及び専門科目で構成されており、専攻科を修了するためには、一般科目及び専門科目を合わせて62単位以上修得する必要があります。修了に必要な科目等の要件及び開設科目の学年別配当単位数は別表を参照してください。

なお、本校の技術者プログラムとして「複合工学系(複合工学専攻)」に必要とされる単位を満たす必要があります。

7 学士の学位の取得

高等専門学校卒業生で一定の要件を満たした場合、大学改革支援・学位授与機構の審査により学士の学位を取得できます。これは、大学卒業と同等の水準にあると認められたことで、本校の専攻科は、大学改革支援・学位授与機構の認定を受けております。

本校専攻科の学士修了要件を満たした方は、専攻科修了時に学士(工学)の学位を取得できます。

なお、本校以外から本校専攻科を受検される方及び本校卒業生についても、専攻科入学前の取得科目により、大学改革支援・学位授与機構が定める専攻に係わる授業科目・単位が不足するときには、それらを取得する必要があります。

[参考] 大学改革支援・学位授与機構の学位取得のための申請に伴う審査手数料

32,000円(令和元年度)

8 入学時に必要な経費 (金額は、改定される場合があります。)

費 目	金 額	備 考
入 学 料	84,600円	
授 業 料	117,300円	年額234,600円

- (1) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- (2) 学生会は、任意加入です。加入する場合は別途会費(年額3,000円)等が必要になります。
- (3) 入寮を希望し、許可された場合は寮費等の経費が必要になります。

後援会関係

費 目	金 額	備 考
入 会 金	15,000円	本校の本科から引き続き専攻科に進学する者は納入不要
会 費	25,200円	年額

9 入学料、授業料の免除

(1) 入学料の免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡、又は本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

10 奨学金制度

日本学生支援機構の規程に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

11 その他

その他ご不明な点は、次の問い合わせ先にお尋ねください。

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771

小山市工業高等専門学校 学生課教務係

電話 0285-20-2142 (学生課教務係)

0285-20-2141 (学生課専門職員)

FAX 0285-20-2882 (学生課)

E-Mail kyoumu@oyama-ct.ac.jp

別表

授 業 科 目		必修選 択の別	単位数	備 考	
一 般 科 目	応用英語 1 応用英語 2 日本語概説 技術者倫理	必修	2		
		選択	2		
		選択	2		
		必修	2		
	開設単位数		8		
	修得単位数		6		
専 門 科 目	専 門 基 礎 科 目	複素関数論	選択	2	*1 物質工学コース対象 *2 建築学コース対象
		応用解析学	選択	2	
		応用科学	選択	2	
		化学数学 *1	選択	2	
		建築数学 *2	選択	2	
	開設単位数		10		
		修得単位数		4	
	コ ー ス 共 通 科 目	システムデザイン 産業財産権 環境技術 プロジェクトデザイン 経営工学	必修	2	1年 特別研究Ⅰが合格しない場合は、特別 研究Ⅱを受講することができない。 2年
			必修	2	
			必修	2	
			必修	2	
			必修	2	
		特別研究Ⅰ	必修	3	
		特別研究Ⅱ	必修	11	
		実務研修Ⅰ	必修	2	
		実務研修Ⅱ	選択	2	
		開設単位数		28	
		修得単位数		26	
		以上合計修得単位数		36	
	専 門 科 目	機 械 工 学 コ ー ス	力学特論	選択	2
			流体力学	選択	2
			熱移動論	選択	2
			エネルギー工学	選択	2
			塑性力学	選択	2
			応力解析特論	選択	2
			生産システム工学	選択	2
			シーケンス制御	選択	2
			現代制御理論	選択	2
計算力学			選択	2	
トライボロジー			選択	2	
機械工学専攻演習			必修	2	
機械工学専攻実験			必修	2	
機械工学ゼミナール			必修	2	
開設単位数計				28	
電 気 電 子 創 造 工 学 コ ー ス		材料物性特論	選択	2	
		電離気体力学	選択	2	
		高周波工学	選択	2	
		電磁エネルギー工学	選択	2	
		光応用工学論	選択	2	
		計測システム論	選択	2	
		電気エネルギー論	選択	2	
		システム制御論	選択	2	
		ロボット工学特論	選択	2	
		デジタル通信	選択	2	
		画像情報工学	選択	2	
		情報セキュリティ論	選択	2	
		電気電子創造工学演習	必修	2	
電気電子創造工学専攻実験	必修	2			
開設単位数計		28			

授 業 科 目		必修選 択の別	単位数	備 考
専 門 科 目	物 質 工 学 コ ー ス	分子構造論	選択	2
		機器分析特論	選択	2
		複合材料	選択	2
		腐食工学	選択	2
		分離工学	選択	2
		有機合成化学	選択	2
		有機材料	選択	2
		生物機能化学	選択	2
		生物素材工学論	選択	2
		触媒化学	選択	2
		生物化学工学	選択	2
		生命工学	選択	2
		情報処理	必修	2
		物質工学演習	必修	2
		物質工学専攻実験	必修	2
		物質工学ゼミナールⅠ	必修	2
		物質工学ゼミナールⅡ	選択	1
		物質工学ゼミナールⅢ	選択	1
	開設単位計		34	
	建 築 学 コ ー ス	まちづくり論	選択	2
		文化財保存論	選択	2
		地域施設計画論	選択	2
		環境デザイン論	選択	2
		設備システム論	選択	2
		鋼・合成構造論	選択	2
		建築耐震設計論	選択	2
		建築構造解析学	選択	2
		都市防災論	選択	2
		バリアフリー・デザイン	選択	2
		鉄筋コンクリート構造論	選択	2
		建築高機能材料工学	選択	2
		地域設計Ⅰ	選択	2
		地域設計Ⅱ	選択	2
		建築CAD・CG	選択	2
開設単位計			30	

技術者教育プログラムについて

本校では、専攻科における各専攻のカリキュラムと各専攻に関係する各学科(本科)4・5年のカリキュラムから構成され、本校独自の明確な学習・教育目標を持った技術者教育プログラム「複合工学系(複合工学専攻)教育プログラム」を策定し、平成16年度より実施、運用して来ています。そして、その技術者教育プログラムについて日本技術者教育認定機構(Japan Accreditation Board of Engineering Education: JABEE)による認定審査を平成17年度に受けています。JABEEによって認定されると、本校の技術者教育プログラムが大学学部相当の工学教育の質や水準、学習・教育の量を持つことになり、プログラムの修了生は社会的にも、また国際的にも技術者として必要な工学基礎教育を修得したものとして保証されることとなります。また、技術士の第1次試験が免除されることとなります。

本技術者教育プログラムは、本科4・5年および専攻科1・2年の4年間のカリキュラムで構成されていますので、専攻科に入学したすべての学生はプログラムの履修対象者となります。プログラムの履修登録をしないで在学することはできません。

1. 本教育プログラムを修了するには、(1)～(7)のすべての要件を満たす必要があります。
 - (1) 学士の学位を取得すること。
 - (2) 専攻科において62単位以上修得し、専攻科を修了すること。
 - (3) 専攻科および本科4・5年を含めて計124単位以上修得すること。
 - (4) 専攻科および本科4・5年において人文科学・社会科学等(語学教育を含む。)を10単位以上、数学・自然科学・情報技術を10単位以上、および専門工学分野36単位以上を修得すること。
 - (5) 専攻科および本科4・5年において、プログラムが設定する次の基礎工学に関する科目群の中から少なくとも1科目、合計6科目以上の単位を修得すること。
 - ①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群
 - ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群
 - (6) プログラムが指定する下記の必修科目12単位(6科目)を修得すること。
 - ①システムデザイン ②環境技術 ③技術者倫理 ④経営工学 ⑤プロジェクトデザイン
 - ⑥産業財産権
 - (7) 本プログラムの5つの学習・教育到達目標について、次表に示される評価方法をすべて満たすこと。
2. 本校以外の高等専門学校・大学・短期大学、専門学校等から専攻科に入学した学生については、他の教育機関で修得した履修授業科目等を本校4・5学年の履修授業科目へ読み替えるものとします。読み替えは、JABEE専門委員会の議を経て本教育プログラムの単位として認定されます。

技術士・技術士補とは

技術士制度は、技術的専門知識及び応用能力と豊富な経験を有する優れた技術者の育成を図るための、国による技術者の資格認定制度です。

- a) 技術士は、
技術士法に基づいて行われる国家試験(技術士第二次試験)に合格し、登録した者だけに与えられる称号です。国は、この称号を与えることにより、その人が科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを認定することとなります。従って、技術士は、科学技術の応用面にわたる技術者にとって最も権威ある国家資格と言えます。
- b) 技術士補は、
技術士法に基づく国家試験(技術士第一次試験)に合格し、登録した者だけに与えられる称号です。技術士補は、技術士となるのに必要な技術を習得するため、技術士を補助することになっています。本校のJABEEの認定を受けて修了した者は、この資格を有しています。

学習・教育到達目標	目標の到達基準
(A) 科学や工学に関する基本的知識を習得し、専門工学分野の問題に応用して適切な解を求められる。	<p>各コースの該当科目：(あ) 専門分野(1)基礎工学②情報・論理系科目 (い) 専門分野(1)基礎工学 ③ 材料・バイオ系科目 (う) 専門分野 (1)基礎工学④力学系科目 (え) 専門分野(2)基礎工学の知識・能力(a) 専門工学科目、これらを、以下の条件で修得することで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目のシラバス記載の各達成目標が、明示された評価方法で60%以上達成されていると認められたうえで、科目として合格している。 ・修得した科目の評価を、S評価=4、A評価=3、B評価=2、C評価=1として計算した、Grade Point (GP)の平均は2.0以上であること。 ・これらの科目を20単位以上修得すること。
(B) 問題点を把握し、俯瞰的な考察に基づく科学的方法を駆使しながら協働で作業し、主体的に結論を導く姿勢を保てる。	<p>各コースの該当科目：(あ) 専門分野(1)基礎工学①設計・システム系科目 (い) 専門分野(2) 専門工学工学の知識・能力(a, b, c, d) の科目群のエンジニアリングデザイン関連科目および実験実習等の科目、について修得すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目のシラバス記載の各達成目標が、明示された評価方法で60%以上達成されていると認められたうえで、科目として合格している。実験実習・研究等を実施してその報告書・論文等を提出させ、ルーブリック方式またはシラバス記載の方法で評価する。 ・最終的に本科の卒業研究もしくは専攻科の特別研究の成果について1回以上、外部発表を行なうことで評価する。
(C) 数学および自然科学に関する基礎知識を習得し、それらを総合的に応用できる。	<p>各コースの該当科目：数学・自然科学・情報技術科目、について修得することで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目のシラバス記載の各達成目標が、明示された評価方法で60%以上達成されていると認められたうえで、科目として合格している。 ・修得した科目の評価を、S評価=4、A評価=3、B評価=2、C評価=1として計算し、修得した科目のGPの平均は2.0以上であること。 ・これらの科目を12単位以上修得すること。
(D) 科学・技術が自然や社会に与える影響を、豊かな人間性を備えた技術者としての視点に基づいて理解できる。	<p>各コースの該当科目：(あ) 人文社会・社会科学科目群の「人間と科学Ⅰ、Ⅱ」(い) 専門分野(1)基礎工学⑤社会技術系科目 (う) 専門分野 (21) 専門工学の知識・能力 (a) の科目群の資源やエネルギー、環境に関連した科目 [所属コースの中から4単位以上を修得すること。機械コース：熱力学、水力学Ⅰ・Ⅱ、伝熱工学、エネルギー工学。電気電子創造工学コース：パワーエレクトロニクス、新エネルギー発電、電力系統工学、高電圧工学、電気法規、電磁波工学、電磁エネルギー工学、電気エネルギー論。物質コース：環境化学Ⅰ・Ⅱ、生物資源工学。建築コース：建築設備、環境デザイン論、設備システム論。]、について修得することで評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目のシラバス記載の各達成目標が、明示された評価方法で60%以上達成されていると認められたうえで、科目として合格している。 ・「環境技術」および資源やエネルギー、環境に関連した科目のGPの平均は2.0以上であること。ただし、これらの科目は6単位以上修得すること。
(E) グローバル社会で通用する研究調査や実験の計画を適切に立てて結果を論理的にまとめ、外国語も用いて正確に他者に理解してもらうことができる。	<p>各コースの該当科目：(あ) 人文社会・社会科学科 (い) 専門分野(2) 専門工学の知識・能力(b, c, d) の科目群の科目およびその他の科目を修得すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目のシラバス記載の各達成目標が、明示された評価方法で60%以上達成されていると認められたうえで、科目として合格している。実験実習・研究等を実施したときは、その報告書・論文等を提出させ、ルーブリック方式またはシラバス記載の方法で評価する。 ・TOEIC400点と同等以上のスコアを得ることで評価する。

なお、修得とは、各科目のシラバス記載の各到達目標が、明示された評価方法により60%以上達成されていると認められたうえで、科目として合格することである。

学校所在地略図

